

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和7年度)

施設名	吹田市立高齢者いこいの家	所管部室課名	福祉部 高齢福祉室
所在地	吹田市岸部中1丁目24番11号	設置年月日	昭和63年1月22日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の健康の増進、教養の向上及びリクリエーションのための便宜を提供し、高齢者の相互交流及び社会参加を促進するとともに、高齢者の自立支援を図り、もって高齢者の福祉の増進を図るため
(2)規模、開館日等	①延床面積 449.27㎡ ②開館日 月～土曜日午前9時～午後5時30分 ③休館日 日・祝休日及び年末年始 ④部屋 和室、洋室、多目的ホール ⑤設備 カラオケ機器、マッサージ機、囲碁・将棋、運動機器等

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	株式会社ビケンテクノ					
(2)指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内容	①高齢者の健康増進、教養向上等のための場の提供、講座の実施 ②高齢者の交流、社会参加の促進、高齢者の福祉増進に関する事業の実施 ③施設の使用申請・許可 ④施設の備品、設備等の管理					
(5)指定管理者 の収支			令和7年度			
			計画	実施結果		
	収入	指定管理料 (円)	17,048,000	17,048,000		
		自主事業 (円)	123,400	141,250		
		その他 (円)	216,000	0		
	支出	管理経費 (円)	17,264,000	16,979,419		
		自主事業 (円)	107,400	237,762		
		その他 (円)	0	0		
収支差額 (円)		16,000	△27,931			

3 成果指標(活動指標)

成果指標(活動指標)		令和7年度			
		計画	実施結果		
1	利用者数 (人)	14,000	15,332		
2	開所日数 (日)	292.0	292.0		
3	1日平均利用者数 (人)	47.9	52.5		
4	主催講座 開催回数 (回)	143	144		
5	自主事業 開催回数 (回)	52	99		
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	・年1回の利用者アンケート、講座参加者のアンケート(随時)、利用者との日頃の会話、利用者懇談会、目安箱で把握している。 ・アンケートでは満足・不満な点のほか、生活の中の困りごとや興味関心のある項目を設けている。
(2)把握結果	・おおむね満足との結果だった。特に職員の対応について85%が満足と回答、講座の満足度は72%であった。 ・生活の中で困っていることは「掃除」が63%、「スマホ」が10%であった興味関心があるテーマは「健康・体操」が51%、「手芸、編み物、映画鑑賞等文化活動」が23%となった。
(3)結果を受けての対応状況	新たな講座の開設を検討するとともに、サークル活動を促進している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・ヘルストロンが混みあった場合は時間制限を設けるなど、平等な利用の確保に努めている。 ・窓口には「耳マーク」を設置するなど障がいがある方にも開けた施設運営を行っている。 ・令和8年度の講座内容の変更に係る利用者対応が不十分であった。利用者からの信頼回復に努められたい。
(2)施設の効用の発揮	・日頃の会話、アンケート等でニーズを把握しており、講座の内容等に反映している。 ・講座や貸室でのカラオケなどがきっかけとなり、高齢者の外出促進や生きがいがづくり、教養の増進に繋がっている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・事業担当者を2名以上配置し、利用者に対し綿密に対応できている。 ・職員会議で次年度の事業計画や予算を協議する際、どのように予算を工面し、原価率を低く抑え、事業を多く展開できるかを念頭に置き、職員一人ひとりの意見を取り入れている。
(4)施設の管理経費の縮減	・環境対策指針を策定し裏紙の使用、電灯の間引き等の節電や節水、コンポストによるごみの堆肥化等を行い、環境対策とともに管理経費の縮減を行った。
(5)その他	・人気の講座を定番としつつ、畑の作物を収穫し調理するなど体験型の講座もあり、バリエーションが豊富である。 ・内部管理については、接遇やコンプライアンス以外にAEDの使い方を含む普通救急講習等多岐にわたる研修を受講している。 ・指定管理1年目のため、前事業者からの事業を引継ぎ、安定した事業運営を実施した結果、利用者からは運営に対しおおむね満足と評価され、利用者数を伸ばしている。
(6)総合評価	・管理面(業務日誌や規程等)においては協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。 ・指定管理1年目にも関わらず利用者数が前年度比で増加している点、人気の講座を定番としつつも、利用者の声や社会のニーズを反映した新たな講座の展開を検討している点は評価できるが、利用者への対応に関しては丁寧な対応を心掛けられたい。